

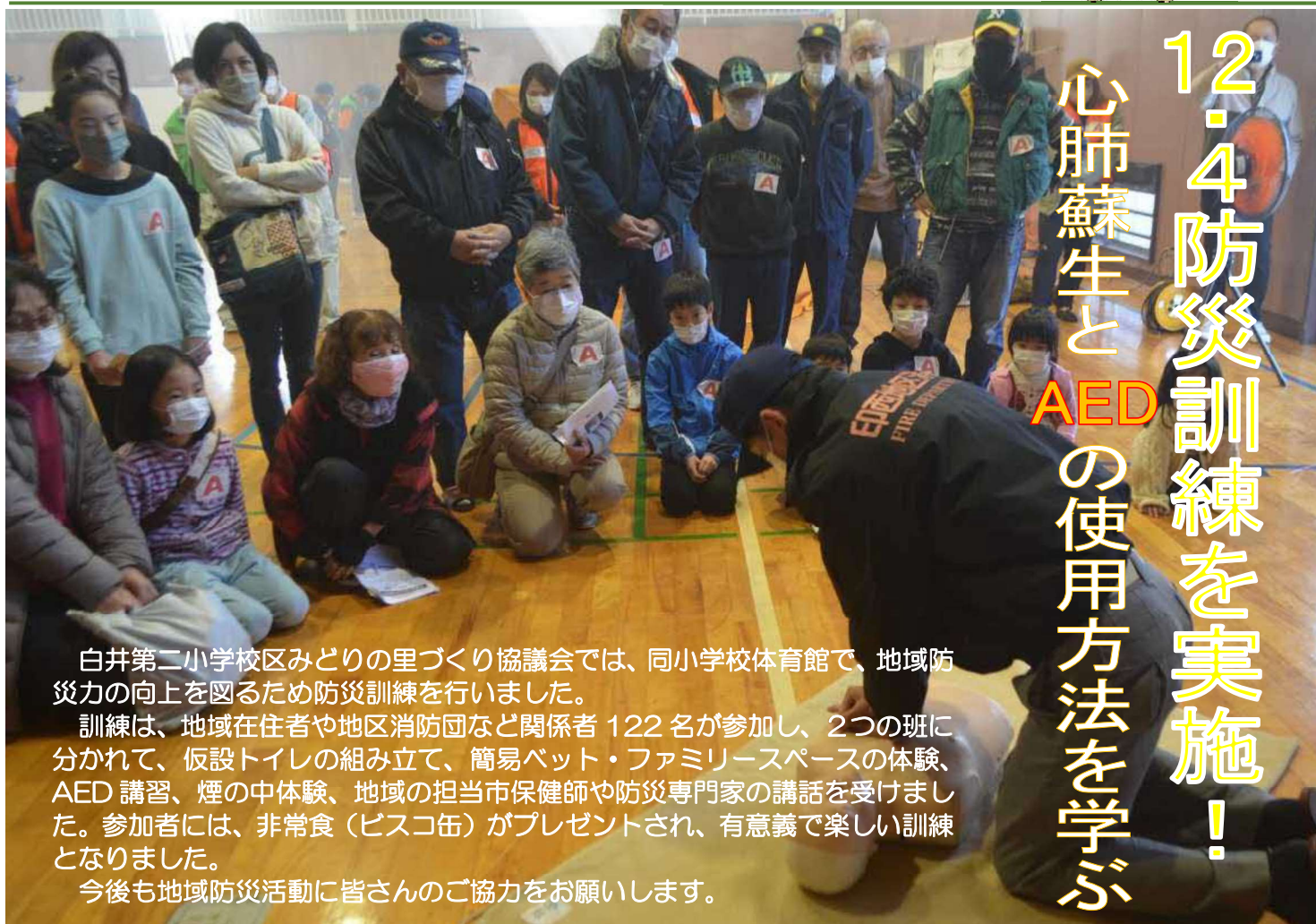
2023.3
No.5

かわせみ

●題字：白井第二小学校6年生 山崎泰志さん

発行 白井第二小学校区みどりの里づくり協議会 総務・広報部会

*取次先 白井市公民センター（白井市中 98-17） ☎080-6242-6065



白井第二小学校区みどりの里づくり協議会では、同小学校体育館で、地域防災力の向上を図るため防災訓練を行いました。

訓練は、地域在住者や地区消防団など関係者 122 名が参加し、2つの班に分かれて、仮設トイレの組み立て、簡易ベット・ファミリースペースの体験、AED 講習、煙の中体験、地域の担当市保健師や防災専門家の講話を受けました。参加者には、非常食（ビスコ缶）がプレゼントされ、有意義で楽しい訓練となりました。

今後も地域防災活動に皆様のご協力をお願いします。

住みやすい地域を目指して



川上利一 会計

まちづくり協議会は自治会単位では解決が難しくなってきた課題をもう少し広い範囲（小学校区）で解決するため検討が進められ、現在みどりの里づくり協議会のほか、第三小学校区、大山口小学校区に設立されています。第二小学校区は範囲が広く、農地などを中心に自然が多く残り、中央部に工業団地を有するなど、他地区にはない特色がありますが、少子化、高齢化が他地区よりも進んでおり、地区役員や消防団の担い手不足などの課題も生じています。

協議会は、自治会、地区社協など地域の団体、工業団地協議会、NPO法人など様々な団体が集まり設立され、コロナ過の中制限はあったものの、青パトによる見回り、ごみゼロ、防災訓練などの活動を行ってきました。今後協議会の活動に、多くの地域の皆様が、少しずつ無理のない範囲で参加していただき、住みやすい地域づくりにつなげられることを願っています。

防災訓練からの得たもの



山崎正司
安心・安全部会長

防災備蓄

食料品など、災害に対する各家庭での備蓄は、少なくとも3日分必要といわれています。災害後72時間は人命救助が最優先となり、道路の復旧や避難所への物資輸送はそれ以降となるので、72時間、つまり3日間は自分たちの力で乗り越えられるよう備える必要があると考えます。

避難所の防災倉庫の中には、ある程度の必需品とその量が確保されていますが、それ以外の食糧、飲用水などの備えが必要になります。妊娠中の方、小さなお子さんがいる方は母子手帳やおむつ、ミルクの備蓄も必要になります。さらに、普段から薬を服用している方は薬の予備を持っておくことに加え、普段何を内服しているか把握するためにもお薬手帳を持って避難することを意識してください。

備蓄を一度準備すれば安心してしまいますが、定期的に何を備蓄しているか賞味期限が切れていないか確認しましょう。

災害が起こると、今までの日常ではなくなり不便なこと、困ることが多くあると思います。普段から地域の人たちとコミュニケーションをとっておき、なにかあったら助け合える関係を築くことがとても重要です。

*AEDとは？

AED（自動体外式除細動器）とは、心臓がけいれんし血液を流すポンプ機能を失った状態（心室細動）になった心臓に対して電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための医療機器です。

私たちの地域では、救急車が到着するまで平均で約10分かかります。1秒でも早く心肺蘇生法を実施することで、助かる命が増えるのです。

◆倒れた人を発見したら

倒れた人を発見したら、落ち着いて行動をすることが大切です。近くにいる人を指名し、「119番通報をする人」と「AEDを持ってくる人」を決めます。

「あなたは、119番通報をお願いします！」と役割を明確にすることで、素早く行動に移すことができます。

◆呼吸の確認

正常な呼吸をしているか確認します。していない場合は、心臓マッサージを実施します。

◆AEDが到着したら

AEDが到着したら、機械の指示にしたがって電気ショックを与えます。やり方はAEDが音声で教えてくれますので、落ち着いて操作をしましょう。

◆救急車が到着したら

救急隊に、AEDと心臓マッサージしたことを正確に伝え、引き継ぎましょう。

◆AEDの設置場所(ゼンリンいつもNAVIなどより)

- ・白井第二小学校・公民センター・ひまわりこども園・フクダ電子(株)・(株)藤井製作所・(株)五関製作所・小池酸素工業(株)・(株)シルド・ジェコス(株)・ウィング(株)・ヒロセ(株)
- 彦山精機(株)・酒井医療(株)・日弘ビックス(株)
- ・コーユーロジックス(株)
- ・VZONE 白井店
- ・(株)パール技研
- ・和光サービス(株)ほか



あれこれトピック

このコーナーは地域のお話をお知らせします

今井区には「金山落」と呼ばれる水路があります。これは、江戸時代に度重なる手賀沼の氾濫に対し、享保12年（1727）に排水路として整備されたものです。戦後の土地改良事業により、昭和32年から10年程かけて再整備され、昭和35年から桜を植栽し、今の桜の名所となりました。水路は昔ながらの川岸の風情がしっかりと残っていて、水路の両側の土手に植えられた桜並木は現在280本ほどに達します。花見の名所として知られ、春になると多くの見物客を集めています。





白井第二小学校区
担当保健師
戸田亜紀子

避難生活における健康被害 熊本地震や東日本大震災の際に、疲労による心疾患、エコノミー症候群、栄養障害、持病の悪化、インフルエンザなどの感染症により亡くなるという災害関連死が多く発生しました。今後起こりうる災害に備え、避難所における集団生活で特に広がり懸念される感染対策について考えてみましょう。

コロナウイルス感染症の流行が続く中で、感染対策は広く熟知され、手指消毒やマスク着用、換気の他、距離を保つ（2mで最低1m）などの対策を行っていますが、避難所生活においても重要となります。

感染症の中で高齢者に多く見られる肺炎は、床から舞い上がる埃や粉塵を吸入するなどの環境的要因のほかに、水分不足により唾液量低下のため、口腔内環境の悪化、摂食困難な形態の食事や身体を動かさない事により嚥んで飲み込む機能が低下して飲み込んだ時に誤って気道に入り肺炎となる場合もあります。対策として、引き続き手指消毒、咳エチケット（マスク）、換気を徹底することと、うがいや水分飲用、唾液

腺マッサージ、身体を動かすなど体力維持に努めることが重要です。さらに、周りの方々とのコミュニケーションをとっておき、見守りと助け合える関係を築くことがとても重要です。

みどりの里ひろば

このコーナーは各種団体からのお知らせです

◆環境・文化部会

11月3日、下手賀沼金山落今井区地先の「ポンプ場」周辺に繁茂しているナガエツルノゲイトウ（特定外来生植物）の駆除作業が行われ、白井高校生徒の皆さんをはじめ、多くの市民の皆さんが参加しました。

この作業は、白井環境ネットワークの会が中心になり多くの環境保全団体が協力し実施されたもので、協議会も環境・文化部会が初めて参加しました。



◆白井第二小学校 のらねこを助けよう！



私たち白井第二小学校3年生11名は、家や学校の廻りにたくさんいるのらねこについて関心を持ち、総合的な学習の時間に、現状や対策について学習を進めました。学習を進めるうちに、のらねこが、痩せていたり、病気だったり、交通事故で死んでしまったりと、生きている環境が不適正で厳しくつらいことを知りました。

これらのねこの寿命は4年以下だといわれ、私たちは心を痛めてかわいそうでした。

そこで私たちは、「白井市ののらねこを助けよう！」

というテーマでどうしたら助けることができるか、方法を一生懸命に調べたり、ボランティアの方に話を聞いたりして、自分たちにできることを考えました。そして地域の人たちと一緒に考え、のらねこに優しい地域にしていきたいと考えました。

■どうしたら助けられるのか。

T（Trap…捕獲する）のらねこに餌をあげ、悪人ではないと思わせます。周りの人にも知ってもらいます。そして、捕獲器で捕まえます。
N（Neuter…手術）環境課に連絡して無料のチケットをもらい、病院で不妊・去勢手術を受けます。

※白井市は、どうぶつ基金に登録しており、手術の無料枠が今後確保されます。

R（Return…元の場所に戻す）地域のねことして世話をします。または新たに飼い主を探すことが一番幸せです。

わからないことがあったり、保護したいのらねこがいたり、協力をしてくださる気持ちがありましたら、白井第二小学校まで連絡をお願いします。

◆協議会のパートナー募集

白井第二小学区に在住、在勤されていて、まちづくり活動へ関心のある方、是非ご連絡ください。

私たちの地区を紹介します Vol 4 中区



山崎忠 中区長 40年代に開発され、現在も多くの企業が進出しています。

白井の名産である梨の栽培も盛んで、シーズンには直売店も多く開かれ、おいしい梨づくりにチャレンジし、梨農家を盛りあげていこうと頑張っている若者たちもいます。

地区では、幹線道路や暗がりの安心・安全、環境美化に務めるほか、お歩射、庚申講、子安講などの伝統行事の継承、高齢者クラブの「つくし会」女性の集まりである「あゆみ会」の充実、お囃子の復活などに務めています。

当区は江戸時代から明治にかけ「中村新田」といわれ、近郷の村々からの開発者が移り住み築き続けてきた地区です。このことからか、お寺が無く、今の集会所の地に薬師堂や弘法大師・子安観音の祠が有り当区の集まりの中心になってきました。

木下や布佐の魚河岸から松戸、江戸（東京都）に至る鮮魚（なま）街道通称松戸道が当区を東西に通っており、かつては休憩所も兼ねた「水切り場」があり、弁天の祠も含めて昨年史跡として地域の人たちや関係者で復元・整備をしました。昭和10年に名内学校と富塚学校が一緒になって、中間地点となる当区に白井第二小学校が作られ85年以上の歴史を持ちます。当区の南側は第一工業団地として昭和



復元・整備した水切り場

私たちの団体を紹介します Vol 4 白井工業団地協議会

当協議会は、1970年（昭和45年）に白井工業団地に進出した企業の交流・親睦の場として任意団体として設立され、会員企業の労働安全衛生に関する事業、福利厚生支援事業及び白井工業団地地区の環境整備事業などを行ってきました。

2010年（平成22年）には、一般社団法人として法人格を取得し、会員企業、行政機関、地域団体などの皆様の協力のもと、技能講習会の開催による人材の育成、共同健康診断やインフルエンザ予防接種の実施、工業団地内の一斉清掃の実施、納涼盆踊り大会の開催、地元小中学校のキャリア教育の支援など、これまで以上に多様な事業を展開し、会員企業の活力の向上などを図ることにより、白井工業団地の活性化と地域経済の発展に貢献してきています。



現在、232社が加盟しており、公民センター内に事務局を置き、理事及び監事を合わせて30人の役員により運営するとともに、4つの委員会を組織して労働災害の防止、環境保全、交通安全対策、防犯・防災対策など様々な課題にも取り組んでいます。

今後も会員企業の発展はもとより、地域との交流や連携を深め地域貢献にも寄与してまいります。



◆みどりの里づくり協議会からのお知らせ

■協議会のホームページを開設しています

ホームページでは、防災、防犯、環境美化、高齢者福祉、第二小学校の活動などに関する情報を中心に掲載していきます。



URL



メール

URL <http://www.midorinosatoshiro.jp>
e メール info@midorinosatoshiro.jp

■地域の催事

- *3/ 4(土) ニホンアカガエル卵塊観察会（しろい環境塾）
- *3/10(金) 白井中学校卒業式
- *3/17(金) 白井第二小学校卒業式
- *4/ 7(金) 白井中学校入学式
- *4/11(火) 白井第二小学校入学式
- *5/20(土)～田んぼの学校（しろい環境塾）
- *5/28(日) 白井市ごみゼロ運動
- *5/29(月)～6/2(金) 白井工業団地内一斉清掃（白井工業団地協議会）

